

第 50 期

# 株主通信

2013年3月1日 ▶ 2014年2月28日

「食」創りのすべてを手がけ、  
「食」を進化させ続ける  
『フード・イノベーター』を目指します。

わらべや日洋  
の  
キーワード

① 『50』

② さらなる成長に  
向けた取り組み

詳しくは中面へ ▶▶▶



代表取締役社長 妹川英俊

業績サマリー (2013年3月1日) >>> 2014年2月28日

売上高	1,865億円	前期比	6.6%
経常利益	39億円	前期比	3.8%
当期純利益	22億円	前期比	5.1%

売上高  
1,865  
億円

1,750  
億円

第49期

第50期

Q1 2014年2月期の経営成績についてご解説ください。

A. 売上高はほぼ計画通りの増収を確保しましたが、経常利益は大雪の影響で期初予想を下回る結果となりました。

主要顧客である(株)セブン-イレブン・ジャパンの積極的な出店が続いており、当社グループもそれに対応するために生産能力を拡充したほか、チルド温度帯商品の販売が伸長したことなどから、2014年2月期の連結売上高は前期比6.6%増の1,865億31百万円と、ほぼ計画通りとなりました。一方で経常利益は、大雪の影響などにより計画を下回る結果となりました。

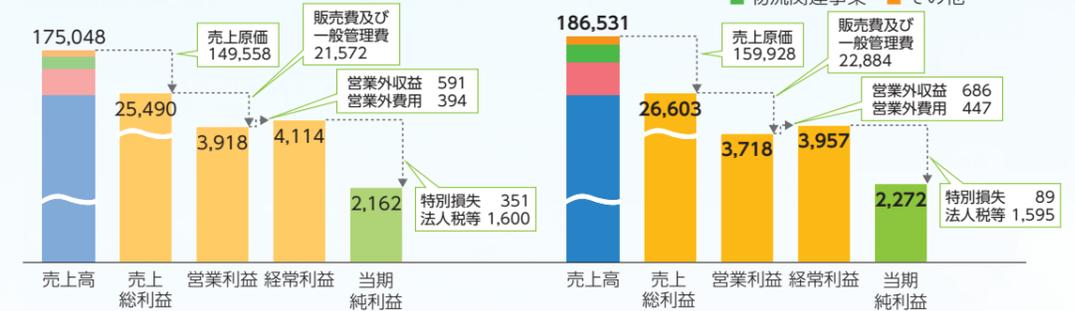
当期は、当社グループにとって四国初の拠点となるわらべや関西(株)香川工場が昨年12月に稼働しました。(株)セブン-イレブン・ジャパンの四国進出に合わせて新設したこの工場は、同社の出店計画に対応するため一日20万食の生産能力を保有します。

このほか、セブン-イレブン向けとしては初めて、「セブンプレミアム」への商品供給を開始しました。第一弾となった「赤飯」、続く「紅鮭の塩麹焼」とともに非常に好評で、順調に販売を伸ばしています。

また、消費期限を従来の20℃温度帯商品に比べおよそ4日間伸ばすことに成功したチルド弁当なども好調で、現在、チルド温度帯商品は売上高の30%を超える規模に成長しています。

連結財務諸表 (要旨)

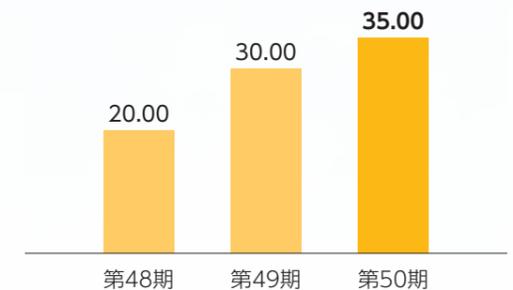
連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)

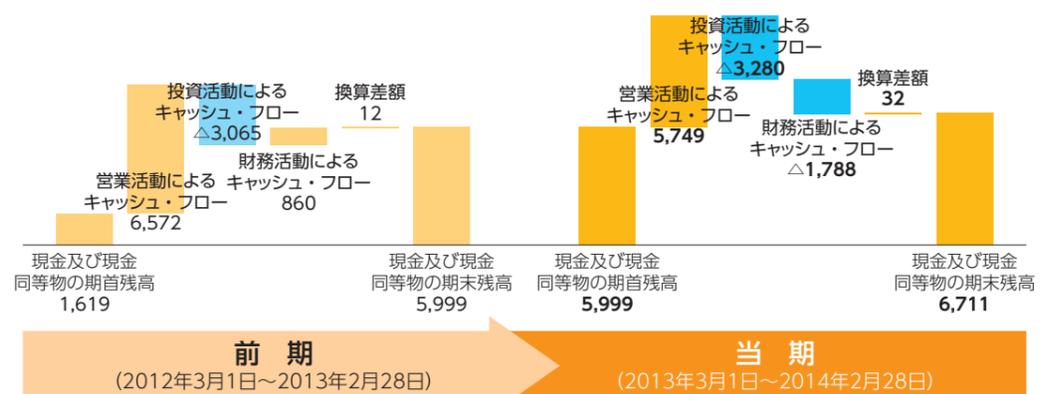
項目	前期末 (2013年2月28日現在)	当期末 (2014年2月28日現在)
流動資産	26,037	29,044
固定資産	39,904	42,059
資産合計	65,941	71,104
流動負債	19,276	22,031
固定負債	9,720	10,223
負債純資産合計	65,941	71,104
純資産	36,943	38,848

1株当たり配当金 (単位: 円)



※ 当期の配当につきましては、1株当たり30円の普通配当に創立50周年記念配当5円を加え、35円といたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



POINT

(株)セブン-イレブン・ジャパンの積極的な出店や、チルド温度帯商品の販売伸長などにより、前期比増収となりましたが、経常利益は、新工場の初動費用、上期の米価上昇、ガス・電力料の値上げ、2月の記録的な大雪の影響など、一時的なコスト増要因により、前期比減益となりました。当期純利益は、前期に計上した特別損失の解消により、前期比増益となりました。

①『50』わらべやの軌跡

# 創業50周年を迎え、感謝を胸にこれからも食の喜びをお届けしてまいります。

**Q2** 創業50周年を迎えての感慨と、今後に向けた抱負をお聞かせください。

**A.▶** 生産機能や商品開発力の強化、人材育成などまだまだ成長途上。経営理念も一新し、さらなる成長を目指します。

お陰さまで、今年の3月18日をもちまして創業50周年の節目を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめとした関係者の方々からの長年のご厚情によるものと心より感謝しております。この50年間は追われるように工場を設立し、生産規模を拡大してきましたが、食品製造に参入して以来、当社は「ニーズの追求と変革の推進」という経営理念の下、一貫して安全・安心と価値ある商品をお客様にお届けすることを最優先課題として取り組んでまいりました。今後とも、これまでの50年で培った大切な企業文化を守るとともに、次の50年のさらなる成長を実現するため、グループ理念の新設と経営理念の変更を行いました。今後はこの新たな理念の下で、グループの全従業員が成長し、当社グループのさらなる発展を目指してまいります。

**Q3** 今後の成長戦略をお聞かせください。

**A.▶** 生産能力の増強や新商品の開発、人材育成は永遠のテーマ。3年後の売上高2,380億円を目指し、積極的な設備投資も継続します。

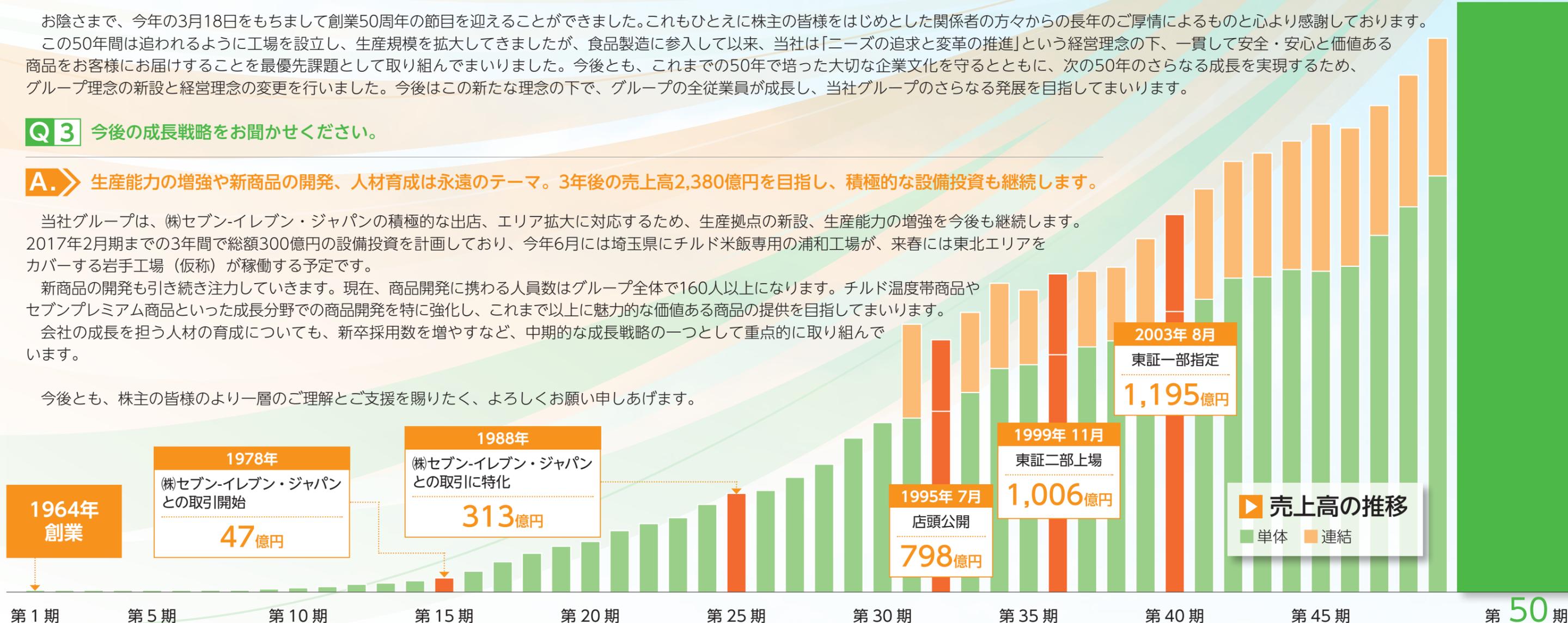
当社グループは、(株)セブン-イレブン・ジャパンの積極的な出店、エリア拡大に対応するため、生産拠点の新設、生産能力の増強を今後も継続します。2017年2月期までの3年間で総額300億円の設備投資を計画しており、今年6月には埼玉県にチルド米飯専用の浦和工場が、来春には東北エリアをカバーする岩手工場（仮称）が稼働する予定です。

新商品の開発も引き続き注力していきます。現在、商品開発に携わる人員数はグループ全体で160人以上になります。チルド温度帯商品やセブンプレミアム商品といった成長分野での商品開発を特に強化し、これまで以上に魅力的な価値ある商品の提供を目指してまいります。

会社の成長を担う人材の育成についても、新卒採用数を増やすなど、中期的な成長戦略の一つとして重点的に取り組んでいます。

今後とも、株主の皆様の一層のご理解とご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

売上高  
1,865  
億円



▶ 売上高の推移  
■ 単体 ■ 連結

## フレグループの商品開発と技術革新

▶1978年 (第15期)

手巻おむすび



- 海苔をフィルムで分ける包装技術

▶1995年 (第33期)

直巻おむすび



- 菌の繁殖を防ぐ衛生管理技術の向上
- 丸型ににぎることでふんわり感を実現

▶1996年 (第34期)

赤飯おこわおむすび



- おこわでもふんわり食感
- 丸型包装の新技術

▶2000年 (第38期)

本格チャーハン



- パラパラ感を実現する高温IH鍋の開発

▶2003年 (第41期)

おにぎり革命



- 具材を真ん中に入れ、しかもふっくらにぎる新技術
- ふんわり包装の技術
- 握ってから塩を振る、振り塩技術

わらべや日洋のキーワード

## ② さらなる成長に向けた取り組み

取り組み

### 1 グループ理念を新設、経営理念を変更しました。

#### 「グループ理念」

私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

#### 「経営理念」

- ・お客様のニーズを追求し、変革を推進します。
- ・コンプライアンスを実践し、透明性の高い経営を行い、社会から信頼される企業を目指します。
- ・人を育て、働きがいのある、環境にやさしい企業を目指します。



取り組み

## 2

### フレボグループの生産拠点 (2014年2月末現在)

#### 国内

● わらべや日洋(株)

首都圏第一生産部 (東京・村山第二・横浜・相模原・入間)  
 首都圏第二生産部 (大宮・吉川・千葉)  
 北関東生産部 (群馬・栃木・新潟・茨城)  
 中部生産部 (南アルプス・上田)

● わらべや関西(株) (摂津・堺・滋賀・三木・香川)

● わらべや東海(株) (名古屋・北陸)

● わらべや北海道(株) (札幌・釧路)

● わらべや福島(株) (福島)

#### 海外

● WARABEYA USA, Inc.

● 北京旺洋食品有限公司

#### ● その他関係会社

(株)日洋フレッシュ

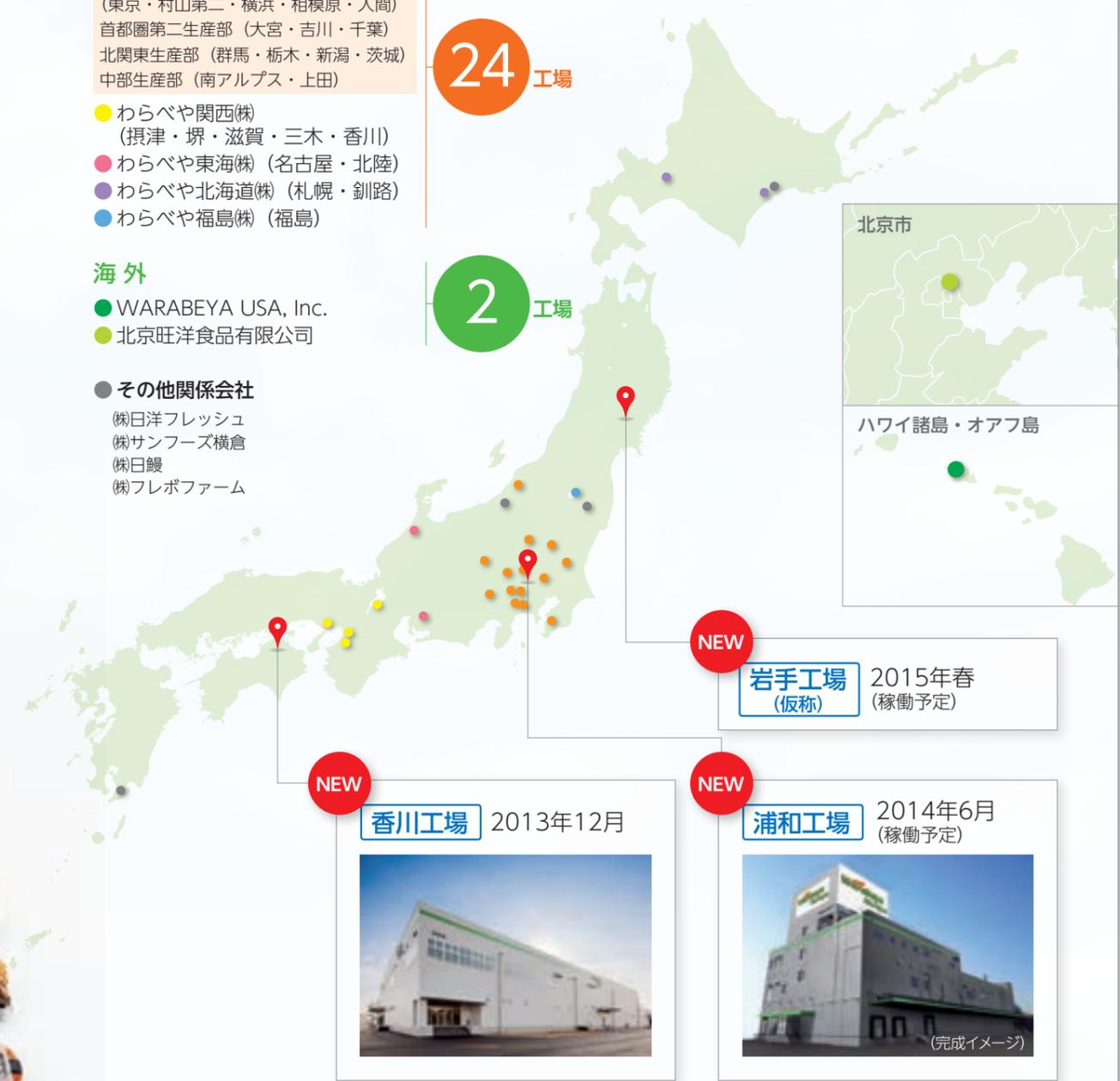
(株)サンフーズ横倉

(株)日鰻

(株)フレボファーム

24工場

2工場



NEW

**岩手工場** (仮称) 2015年春  
(稼働予定)

NEW

**香川工場** 2013年12月



NEW

**浦和工場** 2014年6月  
(稼働予定)



売上高  
1,865  
億円

売上高  
2,040  
億円  
(予想)

第50期 第51期

▶2005年(第42期)



▶2006年(第43期)



▶2009年(第46期)



▶2011年(第48期)



▶2013年(第50期)



## 会社概要 (2014年2月28日現在)

商号	わらべや日洋株式会社 (WARABEYA NICHIO CO., LTD.)
本社所在地	〒187-8503 東京都小平市小川東町五丁目7番10号 TEL: 042-345-3131 (代表)
設立	1964年3月18日
資本金	8,049百万円 東京証券取引所第一部上場 (証券コード: 2918)
従業員(連結)	社員1,847名 臨時従業員10,795名 (1日8時間労働換算)
主な事業内容	弁当、おにぎり、調理パン、惣菜等調理済食品 の製造および販売
役員 (2014年5月22日現在)	代表取締役社長 妹川 英俊 代表取締役副社長 大友 啓行 専務取締役 森浦 正名 常務取締役 白井 恒久 取締役 藤沼 良友 取締役 坪木 正雄 取締役 浅野 直 取締役 佐藤 吾一 取締役 坂田 洋一 取締役 大木 久人 常勤監査役 旭 輝之 常勤監査役 井村 幹男 監査役(社外) 谷村 正人 監査役(社外) 神谷 和彦

## 株主メモ

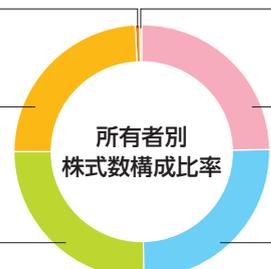
事業年度	3月1日から2月末日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 2月末日
定時株主総会	5月
定時株主総会の 基準日	2月末日 (定時株主総会において議決権を行 使すべき株主の確定日) なお、その他必要ある場合は、あらかじめ公 告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電 子公告によることができない事故、その他や むを得ない事由が生じた場合は、日本経済新 聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="http://www.warabeya.co.jp/ir/accounting/index.html">http://www.warabeya.co.jp/ir/accounting/index.html</a>
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

## 株式の状況 (2014年2月28日現在)

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	17,625,660株
株主数	8,694名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	2,195	12.46
株式会社大友アセットマネジメント	1,350	7.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	874	4.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	717	4.07
ザチースマンハッタンバンクエヌイロンドンエスエルオムコピアアカウント	527	2.99
大友啓行	520	2.95
株式会社みずほ銀行	480	2.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	480	2.72
わらべや日洋共栄会	418	2.37
スキャンディナビスカ エンスキルダ パンケン エスエイ 127200	296	1.68

金融商品取引業者	自己株式
0.7%	0.1%
外国法人等	個人その他
23.7%	24.9%
国内法人等	金融機関
25.5%	25.1%



## 株主優待のお知らせ

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された株主の皆様に対し、以下の基準により年1回5月下旬に「クオ・カード」を贈呈。



### 100株~999株

100株以上1,000株未満所有の株主様には1,000円相当の「クオ・カード」を1枚贈呈



### 1,000株~

1,000株以上所有の株主様には5,000円相当の「クオ・カード」を1枚贈呈

(創業50周年記念デザイン)

## わらべや日洋株式会社

〒187-8503 東京都小平市小川東町五丁目7番10号  
TEL: 042-345-3131 (代表)  
<http://www.warabeya.co.jp/>



見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採用  
しています。



この冊子は、FSC®認証紙を使用し、  
印刷には環境に配慮した植物油インキ  
を使用しています。